

創立者 石田鏡徳先生の御礼挨拶文

学園創立への夢、抱負、そして決意



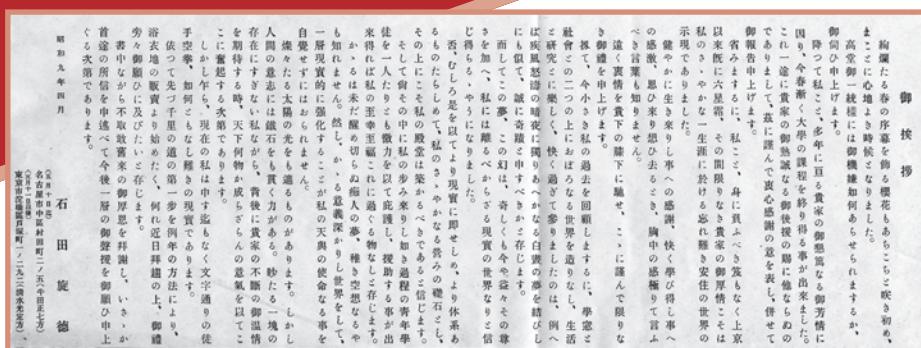
昭和16年(1941年)「明徳學館」創設
名古屋市昭和区佐渡町3丁目



創立者 石田鏡徳先生



昭和20年(1945年)「名古屋英學塾」開設
名古屋市中区仲町3丁目



創立者 石田鏡徳先生の御礼挨拶文(原文) (※2頁に再掲)

～創立者 石田鏡徳先生の「御礼挨拶文」掲載にあたり 理事長 石田正城～

学園創立者 石田鏡徳先生が毎朝、南方の名古屋城の金鯱を仰がれた生家(西春日井郡大野木村・現名古屋市西区大野木)が、庄内川の堤防拡幅のため今年3月に取り壊されることになり、家財等を整理している中で上掲の文書が見つかりました。

この文章は早稲田大学二学部を卒業した昭和9年4月に、14歳で尋常小学校を卒業して以来13年間に渡る苦学生生活に、物心共に支援くださった方々への御礼挨拶文です。

感謝とこれに応える夢、抱負を述べたものですが、初志貫徹、昭和16年に明徳學館を創設して、今日の名古屋石田学園の礎石を築かれました。平成27年度は学園創設74年、ご逝去されて40年を迎えます。

本学園の学生、生徒諸君におかれでは、自分の人生目標をしっかりと持てる人間性を養っていただきたいと念願いたします。

特集 ~未来への足音~

星の城幼稚園 星城高等学校・中学校のグローバル化への取り組み

・星の城幼稚園 英語教育の取り組み ①

・星城高等学校・中学校版 SGHの取り組み ②

創立者 石田鏡徳先生の「御礼挨拶文」全文掲載 ②

親子で星城 星城美術館便り 卒業生の活躍 ③